

観音寺こどもミュージカル「うちの町の青い鳥」

問い合わせ先 文化振興課 ☎23-3943



第4回目となる市民参加のミュージカルが3月に開催されます。第3回目からは、小学生から中学生までを中心とした「観音寺こどもミュージカル劇団トテ・トン」によるミュージカルを公演。出演者とスタッフは昨年7月から練習や準備に励んでいます。今回は、童話『青い鳥』をモチーフにした『うちの町の青い鳥』。主人公の兄妹が、青い鳥に導かれ、「椀貸塚古墳」や「伊吹島」などを訪ね歩き、多くの人たちと出会いながら、医療ボランティアのため出掛けて行方不明になった父親の無事の帰還を願う「観音寺版・青い鳥」です。幸せとは何か。ミュージカルに込めた思いを、ぜひ会場で感じ取ってください。

観音寺こどもミュージカル「うちの町の青い鳥」を見よう！

- 日時 3月20日(日)午後2時～
- 会場 ハイスタッフホール大ホール(全席自由)
- 料金 一般前売り：1,800円、一般当日：2,000円、高校生以下：800円
- 問い合わせ先 ハイスタッフホール ☎23-3939

脚本・演出を担当 浜畑賢吉さんからのメッセージ



私の観音寺初体験は、劇団四季入団5年目の1971年。旧市民会館での公演でした。当時と周囲の景色は変わりましたが、穏やかな空気が心が癒されます。

お金持ちになり、有名になることが幸せでしょうか。身の回りの自然や家族・友人の温かい心に触れること、安心して家事や仕事ができることが一番の幸せではないでしょうか。「青い鳥」はすぐそばにいます。

都会はスポーツや文化で地方の逸材を集めて

にぎわっていますが、基礎となる人間力を育ててはいません。いつの時代でも、人間の才能は地方から生まれてくるものです。観音寺でミュージカルを作ってきて、子どもたちが少しずつ目覚めてきてくれていることに大きな意義を感じています。

本を読む、絵を見る、音楽を聴く、みんなと一緒に歌ったり踊ったりすることで心が豊かになります。トテ・トン育ちがどんな大人になっていくか、ワクワクしながら見守りたいですね。



1～3 音楽監督の北川潤さんや演出補の山本育代さんらの指導のもと、せりふやダンスなどを繰り返し稽古。4 アドバイスは台本にメモして演技に生かします。5～8 衣装や舞台道具は地元スタッフが手作りしています。

出演者のメッセージ



池田遥香さん (豊浜町)

場面ごとの感情の動きが伝わるよう演じます。観客の皆さんに感動してもらえたら嬉しいです。



出口柚花さん (豊浜町)

皆で歌ったりダンスをしたりして、嬉しい悲しいという気持ちを表現します。ぜひご覧ください。



山地佳子さん (観音寺町)

プロの先生方の指導のもと、出演者とスタッフが力を合わせて作り上げる舞台を多くの人に楽しんでいただきたいです。

ミュージカルに登場する市内の風景

こどもミュージカルの魅力は、市内の実在の場所を舞台に物語が広がることです。今回も、劇中に本市の風景がたくさん登場します。ミュージカルを楽しみながら、観音寺を発見してみてください。



伊吹島の海賊伝説

島内には海水の浸食でできた「合戸の穴」や「石門」があります。海賊が隠れ住んだとか、水軍が船出した場所であるという伝説が残ります。

関連イベント情報

- 時 2月22日(火)～3月31日(木)
- 所 ふるさと学芸館
- 内 ミュージカルにゆかりのある展示物を探してみましょ。館内の「青い鳥」が目印です。



椀貸塚古墳

大野原町には国指定史跡である古墳群があり、そのうちの一つ「椀貸塚古墳」は6世紀後葉に築造されたもの。内部の横穴式石室は、この時代のものとしては国内トップクラスの規模です。



天空の鳥居

標高404メートルの稲積山の頂上にある高屋神社本宮の鳥居は「天空の鳥居」として知られています。下宮から徒歩で山道を約1時間、休日は有明グラウンド発のシャトルバスを運行しています。